

実質化された人・農地プラン

〔 注: 本様式は参考ですので、地域の話合いの結果に応じて、積極的に記載する項目を追加してください。 〕

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
室戸市	羽根地区(栢山集落)	令和 6年 3月 25日	年 月 日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	10ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	10ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	1ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.1ha
④地区内において今後中心経営体を引き受ける意向のある耕作面積の合計 (備考)	0.1ha

- 注1: ③の「〇才以上」には、地域の実情に応じて、5～10年後の農地利用を議論する上で適切な年齢を記載します。
 注2: ④の面積は、下記の「(参考)中心経営体」の「今後の農地の引受けの意向」欄の「経営面積」の合計から「現状」欄の「経営面積」の合計を差し引いた面積を記載します。
 注3: アンケート等により、農地中間管理機構の活用や基盤整備の実施、作物生産や鳥獣被害防止対策、災害対策等に関する意向を把握した場合には、備考欄に地区の現状に関するデータとして記載してください。
 注4: プランには、話合いに活用した地図を添付してください。

2 対象地区の課題

現状では、70才以上で後継者未定の農業者の耕作面積がほぼ無い状態であり、農地が維持される見込みの状態であるが、後継者の意識の変化などにより未定になることも備え、新たな農地の受け手の確保に備える必要がある。
 パイプラインの老朽化など農業用施設の更新が課題となっている。集落は促成ナスの産地である。

注: 「課題」欄には、「現状」を基に話合いを通じて提示された課題を記載してください。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

栢山集落の農地利用については、中心経営体である×××が担うほか、入作を希望する認定農業者(法人)の受け入れを促進することにより対応していく。

注1: 中心経営体への農地の集約化に関する将来方針は、対象地区を原則として集落ごとに細分化して作成することを想定していますが、その「集落」の範囲は、地域の実情に応じて柔軟に設定してください。

注2: 「中心経営体」には、認定農業者、認定新規就農者、経営所得安定対策の対象となる法人化や農地の利用集積を行うことが確実と市町村が判断する集落営農及び市町村の基本構想に示す目標とする所得水準を達成している経営体等が位置付けられます。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

農地の貸付け等の意向

貸付け等の意向が確認された農地は、10筆、5,007㎡となっている。

農地中間管理機構の活用方針

中心経営体が将来の経営農地の集約化を目指すとともに、農地所有者については原則、出し手・受け手に関わらず、農地を機構に貸付けていく。

基盤整備への取組方針

農業の生産効率の向上を促進していくため、パイプラインの更新や法面の保護、畦畔の除去などの基盤整備に取り組む。

作物生産に関する取組方針

栢山集落では、水田から収益性の高いショウガへの転換を図るため集落内の農地での栽培を希望する法人との協議を進め、積極的な農地の集積への協力及び作物の転換に取り組む。

農地維持活動に関する取組方針

活動できる人数が限られていることから、引き続き検討課題としていく。